

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

本大会は2016年日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項、ならびに競技注意事項により実施する。

## 2 練習場及び練習について

競技中の練習はサブトラックを使用すること(雨天時は不可)。また競技に支障がないかぎり、場内指令の指示に従いバックストレートを使用することはできる。その他はp7の公開練習要項を参照すること。

## 3 競技者の召集方法について

① 召集所は競技場200mスタート付近ゲートを出て末広中学校体育館横に設ける。

② 各種目の召集開始時刻・時間は全て、その競技の開始時刻を基準とし、下記要領で行なう。

種 目	召集開始時刻	召集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
フィールド競技	40分前	30分前

③ 競技者は、競技召集所付近に掲示した出場者一覧表(召集開始時刻の30分前から完了5分前まで掲示)に競技者又は代理人がチェック(○で囲む)する。その後、召集完了時刻5分前までに召集所内にて待機し、自分のナンバーカードを競技者係に示し最終点呼を受ける。同時にスパイクシューズなどの競技場へ持ち込む物品の確認を受ける。

④ 他の種目に出場しているなど特別な事情のある場合に限り、代理人による召集を認める。この場合、必ず競技者係主任に申し出る。

⑤ 召集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したもものとして処理されるので注意する。

⑥ 召集終了後、勝手に召集所を離れてはならない。移動は競技者係の指示に従う。

## 4 ナンバーカードについて

① 全ての競技者はユニフォームの胸・背に交付された大きさのまま確実に付ける。跳躍競技の競技者は、胸又は背のどちらかに付けるだけでよい。

② トラック競技出場者は別に腰ナンバーカードを付ける。腰ナンバーカードは召集所で競技者係が交付する。ゴール地点で係へ必ず返却する。

## 5 レーン順、試技順について

① トラック競技予選のレーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載順による。

② 決勝の組み合わせ、及びレーン順は番組編成係で抽選をし、その結果を召集場に掲示する。プラス進出者を決める場合、写真判定を拡大し細部まで読み取り判定する。それでも読み取れない場合は同タイム者または代理人によって抽選する。

③ 短距離走のフィニッシュ後は、競技者の安全のために自分の割り当てられたレーン(曲走路)に沿って走り終わる。

## 6 競技について

① トラック競技は全て写真判定装置を使用する。

② 競技中の助力については、競技規則第144条を適用するが、本競技会においては2項(e)を適用しない。また、各種通信機器等を競技場内へ持ち込むことはできない。

③ トラックレースにおいて、予選で棄権により8名に満たない場合は、予選を取りやめ、決勝の時間に行なう。

④ フィールド内での投擲及び跳躍の練習は、必ず審判員の指示に従う。競技中フィールド内での練習は絶対にしない。ただし、ジャベリックスローについては、P7公開練習要項で認められた時間に行うことができる。

⑤ ハードル種目の高さインターバルは次のとおりとする

区 分	高 さ	Stから第1	インターバル	最終からF	備 考
男子A 110mJH	0.991m	13.72m	9.14m	14.02m	ジュニア男子規格
男子B 110mH	0.914m	13.72m	9.14m	14.02m	中学男子規格
女子A 100mYH	0.762m	13.00m	8.50m	10.50m	女子規格でインターバルが長い
女子B 100mH	0.762m	13.00m	8.00m	15.00m	中学女子規格

⑥ 砲丸投、円盤の重量は次のとおりである。

《砲丸》

男子A・・・5.00kg 男子B・・・4.00kg

女子A・・・4.00kg 女子B・・・2.721kg

《円盤》

男子・・・1.50kg 女子・・・1.00kg

⑦ 走高跳のバーの上げ方は次のとおりである。

男子A	練習 1m50	競技 1m55～1m70まで5cmずつ	以後3cmずつ
女子A	練習 1m25	競技 1m30～1m45まで5cmずつ	以後3cmずつ

- ⑧ 円盤投、ジャベリックスロー計測ラインは以下の通りとし、2投目以降、この記録に満たない記録は計測しない。

種目	男子	女子
円盤投	20m	18m
ジャベリックスロー	37m	27m

## 7 競技場への入退場について

- ① 競技場への入退場は全て競技役員の誘導により行なう。競技者以外はトラック、フィールドに立ち入ることはできない。
- ② トラック競技における競技者は、レース終了後、腰ナンバーカードを返却した後、各自退場する。やむを得ない場合は本部席前を通っても構わないが、迅速に行動すること。
- ③ フィールド競技における競技者は、当該競技役員・場内指令の指示に従い退場する。

## 8 競技用器具について

- ① 競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用する。
- ② フィールド競技で、助走に使用するマーカーは主催者が用意したものを使用する。終了後は競技者自身で取り外し、所定の場所に返納する。但し、走高跳のマーカーは各自で用意し、終了後は競技者自身で取り外すこととする。

- 9 競技場は全天候型舗装であり、スパイクピンの数は11本以内で、長さは9mm、走高跳・ジャベリックスローでは12mmを越えてはならない。また、スパイクの先端の直径は4mm以内とする。(規則139条④)

10 選手権獲得者には賞状と選手権章を、2位から8位までの入賞者には賞状を授与する。

11 テントは本競技場芝生席に設置することができる。但し、スタンド席には設置しないこと。地区は特に指定しない。

12 医務室は本部席内に設けてあり、応急処置までの用意がある。

13 競技結果は小樽後志陸上競技協会ホームページ上に掲載する。(http://osrk.jp/)